

掲示を開始した日
(2023年8月22日)

研究に関するお知らせ

(研究課題名: 日本のHIV陽性非血友病症例の死亡状況の推移に関する研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センターでは、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

抗HIV療法の進歩と高齢化に伴い、かつて死亡原因の大部分を占めた日和見疾患にかわり、悪性腫瘍や動脈硬化性疾患など一般的な合併症がHIV陽性者の死亡原因として重要になっており、自宅や療養施設など病院以外の場所での死亡も増加していますが、日本の最新状況に関しては十分な情報がありません。この研究では、研究の対象となる方の診療録(カルテ)に記載された診療情報や検査結果を収集し、日本のHIV感染者の死亡状況の推移を明らかにすることを目的として行います。この研究は、当院に設置された倫理審査委員会で科学性及び倫理性に関する審査を受け、承認を得た上で実施します。

研究の対象となる方のご遺族の方で、この研究への参加を希望されない場合には、該当の方の情報を本研究には利用いたしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■研究期間

2022年7月13日～2025年3月31日

■研究の対象となる方

エイズ治療・研究開発センターへの通院歴を有する HIV 陽性者のうち、1997 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の期間に死亡した方(薬害 HIV 感染被害者は対象に含まれません)

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(初診日、死亡日、年齢、国籍、HIV感染症の感染経路と治療状況、検査結果、治療内容等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、個人情報保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究代表者:

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
治療・研究開発センター 臨床研究開発部長 照屋 勝治

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
電話番号:03-3202-7181(代表) 月～金 9:00-16:00
治療・研究開発センター 照屋 勝治

■掲示場所・交付場所

国立国際医療研究センター 臨床研究センターのHP「承認された臨床研究」にて公開します。
<http://ccs.ncgm.go.jp/120/060/20190604104935.html>